

2023年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)



2022年11月11日

上場会社名 株式会社アドバネクス 上場取引所 東
 コード番号 5998 URL <https://www.advanex.co.jp/>
 代表者(役職名) 代表取締役社長 (氏名) 加藤 精也
 問合せ先責任者(役職名) 取締役最高財務責任者(氏名) 吉原 哲也 (TEL) 03-3822-5865
 四半期報告書提出予定日 2022年11月14日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 ()

(百万円未満切捨て)

1. 2023年3月期第2四半期の連結業績(2022年4月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2023年3月期第2四半期	11,882	10.3	△186	—	591	158.5	226	788.8
2022年3月期第2四半期	10,769	28.0	171	—	228	—	25	—

(注) 包括利益 2023年3月期第2四半期 755百万円(—%) 2022年3月期第2四半期 △64百万円(—%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2023年3月期第2四半期	55.21	55.13
2022年3月期第2四半期	6.22	6.21

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2023年3月期第2四半期	28,479	7,636	26.8
2022年3月期	25,208	6,922	27.4

(参考) 自己資本 2023年3月期第2四半期 7,627百万円 2022年3月期 6,913百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2022年3月期	—	—	—	10.00	10.00
2023年3月期	—	—	—	—	—
2023年3月期(予想)	—	—	—	10.00	10.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	10.5	400	169.8	300	△15.4	120	—	29.21

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

期中における重要な子会社の異動に関する注記

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用に関する注記

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
② 期末自己株式数
③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2023年3月期2Q	4,153,370株	2022年3月期	4,153,370株
2023年3月期2Q	45,317株	2022年3月期	44,925株
2023年3月期2Q	4,108,258株	2022年3月期2Q	4,102,543株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社が約束する趣旨のものではありません。また実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

(四半期決算補足説明資料の入手方法について)

決算補足説明資料は、TDnetで同日開示するとともに、当社ホームページにも掲載しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(会計方針の変更)	9
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間における世界経済は、コロナによる行動制限が緩和されたものの、ゼロコロナ政策を継続する中国のロックダウン、世界的なインフレに加え、前年から続く半導体不足、原油や天然ガスなどのエネルギーコスト及び原材料費の高騰など不透明な状況が続いています。当社の主要市場である自動車業界は、需要こそ旺盛であるものの半導体不足や中国のゼロコロナ政策の影響により生産計画の下方修正が相次ぐなど厳しい状況が続きました。

このような状況のもと、当第2四半期連結累計期間における売上高は前年同四半期比10.3%増の118億82百万円、営業損失は1億86百万円（前年同四半期は1億71百万円の利益）となりました。経常利益は為替差益が発生したことから同158.5%増の5億91百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同788.8%増の2億26百万円となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 日本

半導体不足や中国ゼロコロナ政策の影響による自動車向けの生産調整が相次ぎ、売上高は前年同四半期比2.1%減の41億80百万円となりました。セグメント損失は材料費高騰の影響などもあり14百万円（前年同四半期は2億36百万円の利益）となりました。

② 米州

テネシー新工場の操業遅延があったものの、メキシコ工場の生産立上げが進んだことと円安の影響もあり売上高は前年同四半期比微増の13億68百万円となりました。セグメント損失は、テネシー新工場の操業遅延や材料費高騰の影響などもあり5億46百万円（前年同四半期は3億40百万円の損失）となりました。

③ 欧州

医療及び航空機向けが回復したことと円安の影響もあり、売上高は前年同四半期比17.7%増の12億10百万円となりました。セグメント利益は材料費やエネルギーコスト高騰などにより同25.6%減の40百万円となりました。

④ アジア

自動車、OA機器、医療向けが好調だったことと円安の影響もあり売上高は前年同四半期比24.7%増の51億23百万円となりました。セグメント利益は同39.7%増の3億9百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末における総資産は、前連結会計年度末に比べ32億70百万円増加し、284億79百万円となりました。

資産の部においては、流動資産合計額が23億92百万円増加し、147億13百万円となりました。主な理由は、現金及び預金が8億91百万円、受取手形及び売掛金が12億65百万円及び棚卸資産が2億94百万円増加したことによるものであります。また、固定資産合計額は8億77百万円増加し、137億65百万円となりました。主に、有形固定資産の増加によるものであります。

(負債)

負債の部においては、負債合計額は208億43百万円となり、前連結会計年度末に比べ25億57百万円増加しました。主な理由は、借入金が増加したことによるものであります。

(純資産)

純資産の部においては、純資産合計額が76億36百万円となり、前連結会計年度末に比べて7億13百万円増加しました。主な理由は、親会社株主に帰属する四半期純利益の発生により株主資本合計が1億85百万円、為替換算調整勘定が5億56百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は26.8%（前連結会計年度末は27.4%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況の分析

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比べ5億68百万円増加し、31億11百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により資金が11億95百万円減少(前年同四半期は1億3百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、税金等調整前四半期純利益による資金増加が4億89百万円及び減価償却費による資金留保7億20百万円によるものです。主な支出要因は、為替差益による資金減少が5億98百万円、売上債権の増加による資金減少が9億56百万円及び仕入債務の減少による資金減少が3億33百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により資金が9億97百万円減少(前年同四半期は12億31百万円の資金減少)しました。

主な支出要因は、当社及びグループ会社における設備投資7億34百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により資金が25億46百万円増加(前年同四半期は5億86百万円の資金増加)しました。

主な収入要因は、有利子負債の増加27億4百万円によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2023年3月期の連結業績予想につきましては、2022年5月13日に公表しました業績予想から変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	3,175,062	4,066,564
受取手形、売掛金及び契約資産	4,360,590	5,626,135
商品及び製品	1,462,752	1,370,930
仕掛品	835,012	910,523
原材料及び貯蔵品	1,693,896	2,004,405
その他	824,332	765,193
貸倒引当金	△31,090	△30,314
流動資産合計	12,320,556	14,713,437
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,359,678	4,499,081
機械装置及び運搬具(純額)	4,252,836	4,580,410
土地	1,428,985	1,677,874
その他(純額)	1,914,852	2,096,888
有形固定資産合計	11,956,352	12,854,254
無形固定資産	107,426	119,371
投資その他の資産	823,983	792,113
固定資産合計	12,887,763	13,765,738
資産合計	25,208,319	28,479,176
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	3,660,399	3,445,783
短期借入金	1,442,302	4,343,293
1年内返済予定の長期借入金	3,124,881	3,391,891
リース債務	216,004	250,815
未払法人税等	160,618	213,556
賞与引当金	283,980	262,726
その他	1,470,269	1,366,225
流動負債合計	10,358,456	13,274,291
固定負債		
長期借入金	5,398,400	4,955,361
リース債務	1,012,725	1,062,886
繰延税金負債	251,339	269,542
資産除去債務	54,244	54,908
退職給付に係る負債	1,159,114	1,141,175
その他	51,700	84,956
固定負債合計	7,927,524	7,568,829
負債合計	18,285,981	20,843,121

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2022年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	250,000	250,000
利益剰余金	5,064,348	5,250,067
自己株式	△77,765	△78,289
株主資本合計	6,236,582	6,421,777
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	25,720	△9,705
為替換算調整勘定	632,086	1,188,553
退職給付に係る調整累計額	19,354	26,834
その他の包括利益累計額合計	677,161	1,205,682
新株予約権	8,594	8,594
純資産合計	6,922,338	7,636,054
負債純資産合計	25,208,319	28,479,176

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
売上高	10,769,665	11,882,760
売上原価	8,370,280	9,539,101
売上総利益	2,399,384	2,343,658
販売費及び一般管理費	2,227,966	2,530,583
営業利益又は営業損失(△)	171,418	△186,925
営業外収益		
受取利息	9,686	11,863
受取配当金	1	1
受取賃貸料	36,331	52,654
為替差益	134,522	604,577
補助金収入	1,435	35,904
債務免除益	-	185,709
その他	16,292	28,078
営業外収益合計	198,268	918,789
営業外費用		
支払利息	108,989	117,486
その他	32,031	23,337
営業外費用合計	141,021	140,824
経常利益	228,666	591,039
特別利益		
固定資産売却益	1,208	4,740
特別利益合計	1,208	4,740
特別損失		
固定資産売却損	176	906
固定資産処分損	8,133	717
訴訟関連損失	31,026	-
事業再編損	-	60,440
新型コロナウイルス感染症関連損失	-	44,480
特別損失合計	39,336	106,544
税金等調整前四半期純利益	190,538	489,235
法人税、住民税及び事業税	155,466	236,048
法人税等調整額	9,552	26,382
法人税等合計	165,019	262,430
四半期純利益	25,519	226,804
親会社株主に帰属する四半期純利益	25,519	226,804

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
四半期純利益	25,519	226,804
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△5,735	△35,426
為替換算調整勘定	△91,681	556,466
退職給付に係る調整額	7,505	7,480
その他の包括利益合計	△89,910	528,521
四半期包括利益	△64,391	755,325
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△64,391	755,325

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自2021年4月1日 至2021年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自2022年4月1日 至2022年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	190,538	489,235
減価償却費	618,905	720,687
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△9,846	△3,786
賞与引当金の増減額(△は減少)	22,087	△31,725
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△19,516	△25,835
受取利息及び受取配当金	△9,687	△11,864
支払利息	108,989	117,486
為替差損益(△は益)	△105,048	△598,752
固定資産売却損益(△は益)	△1,032	△3,833
固定資産処分損益(△は益)	8,133	717
売上債権の増減額(△は増加)	103,993	△956,233
棚卸資産の増減額(△は増加)	△617,489	△23,352
仕入債務の増減額(△は減少)	258,591	△333,682
その他	△236,258	△219,922
小計	312,361	△880,861
利息及び配当金の受取額	8,240	11,938
利息の支払額	△63,487	△152,700
法人税等の支払額	△153,581	△174,033
営業活動によるキャッシュ・フロー	103,533	△1,195,656
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△1,075,515	△734,117
有形固定資産の売却による収入	2,068	6,211
無形固定資産の取得による支出	△21,973	△15,883
無形固定資産の売却による収入	331	300
投資有価証券の取得による支出	△73,285	△300
定期預金の預入による支出	△255,600	△333,340
定期預金の払戻による収入	213,646	79,280
その他	△20,862	779
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,231,190	△997,069
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	368,920	2,884,401
長期借入れによる収入	1,900,000	1,549,871
長期借入金の返済による支出	△1,553,656	△1,730,104
自己株式の増減額(△は増加)	△347	△524
配当金の支払額	△42,211	△48,660
その他	△85,882	△108,631
財務活動によるキャッシュ・フロー	586,822	2,546,352
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,853	214,793
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△530,980	568,419
現金及び現金同等物の期首残高	3,093,069	2,543,000
現金及び現金同等物の四半期末残高	2,562,089	3,111,420

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(時価の算定に関する会計基準の適用指針の適用)

「時価の算定に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第31号 2021年6月17日。以下「時価算定会計基準適用指針」という。)を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準適用指針第27-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準適用指針が定める新たな会計方針を将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第2四半期連結累計期間(自 2021年4月1日 至 2021年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,269,617	1,362,537	1,028,789	4,108,720	10,769,665
セグメント間の内部売上高 又は振替高	482,583	6,059	13,252	61,715	563,611
計	4,752,200	1,368,597	1,042,042	4,170,435	11,333,276
セグメント利益又は セグメント損失(△)	236,980	△340,344	54,204	221,769	172,610

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	172,610
セグメント間取引消去	△1,191
四半期連結損益計算書の営業利益	171,418

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。

II 当第2四半期連結累計期間(自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	日本	米州	欧州	アジア	合計
売上高					
外部顧客への売上高	4,180,549	1,368,574	1,210,636	5,123,000	11,882,760
セグメント間の内部売上高 又は振替高	572,961	—	136,602	103,051	812,615
計	4,753,510	1,368,574	1,347,239	5,226,051	12,695,375
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△14,649	△546,970	40,316	309,757	△211,547

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:千円)

利益	金額
報告セグメント計	△211,547
セグメント間取引消去	24,621
四半期連結損益計算書の営業損失(△)	△186,925

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報
該当事項はありません。